



国語・算数の力と学習や生活の様子

～『R5全国学力・学習状況調査』結果から～

今年度は、国語・算数の全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果および分析を受け、白山小学校の子供たちの学習と生活の様子をまとめました。

★国語について★

◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の領域における結果から

◎調査のあった「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の5つの領域において、県・全国平均より高い正答率でした。

②特に正答率が高かった問題

◎話すこと聞くこと…必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中から中心を捉えることができます。

◎情報の取り扱い方に関する事項…情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができます。

③課題が見られた問題

▲読むこと…目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題が見られました。

▲書くこと…目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られました。

→書く力を高めていくためには、土台となる読む力をつけていくことが必要です。読む力を高めていくために、言葉の意味の理解や文と文のつながりを考える活動、文章の中からキーワードを見つけ出す活動、図や表・資料から必要な情報を読み取る活動を各教科で行います。また、書く力を高めていくために、字数制限や時間制限を設けて、本のあらすじをまとめたり、テーマを設定し自分の考えをまとめたりするなどの活動を、継続的に普段の読書や日記を書く活動に取り入れていきます。

★算数について★◎→特に良いところ ▲→伸ばしたいところ

①学習指導要領の領域における結果から

◎調査のあった4つの領域のうち「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の3つの領域は、県・全国平均より高い正答率でした。

②特に正答率が高かった問題

◎データの活用…示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて考えをまとめることができている。

◎数と計算…示された日常生活の場面を解釈し、計算処理の仕方を工夫したり、求め方と答えを式や言葉を用いて考えをまとめたりすることができています。

③課題が見られた問題

▲変化と関係…示された基準量と比較量を基に、同じ割合になるものを見つけることに課題が見られました。

→数や量について、図や言葉・別の数や式で表すなど、算数的活動を積極的に取り入れ、多様な考えに触れる機会を増やし、見方や考え方を広げていくことができるようにしていきます。

▲図形…高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて考えをまとめることに課題が見られました。

→図形の種類と定義、性質の違いを理解し、具体物の観察をしたり作図をしたりするなどの操作活動やタブレット等を使用した視覚的な支援を行うなど、図形について様々な見方ができるような活動を充実させていきます。また、算数的用語を適切に使い、わかったことや考えたことを自分の言葉でまとめる活動を丁寧に行っていきます。

《家庭や地域に関すること》

◇自分が住んでいる地域のことについて、多くの人にもっと知ってもらいたいと思っている児童が多くいます。



◇早寝・早起き・朝ご飯を意識した生活ができています。

◇毎日一定時間読書の時間を設けたり、家庭学習に取り組んだりしている児童が多くいます。

◆自分で計画を立てて勉強をしたりしている児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。

→時間を有効に活用して計画的に学習することができるように、自分の学習について省察し、自ら設定した計画のもと学習課題に取り組む期間を設けていきます。

《学校に関すること》

◇多くの児童が、学校に行くのが楽しいと思っています。



◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っています。

◇友達との間で話し合う活動を通じて、自分と異なる意見について考えることが楽しいと感じ、自分の考えを深めたり、広げたりすることができています。

◇授業で学んだことをほかの学習で生かしている児童が多くいます。

◆学習や学級の課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとする児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。

→学校行事や児童会活動など、より自分のこととして捉えることができるように、活動目標を設定したり、話し合い活動を充実させたりしていきます。

《自分自身に関すること》



◇多くの児童が、自分には、よいところがあると思っています。

◇人の役に立つ人間になりたいと思っています。

◆将来の夢や目標を持っている児童の割合が、全国・県の平均と比べて低い傾向にあります。

→学級活動や道徳の授業を中心に、将来やってみたこと、夢や目標に近づくためにつけていきたいか、なりたい自分、よりよく生きることについて考える時間を十分に持つことができるようにします。

【学力面との関係で分析すると】



次のように回答した児童ほど正答率が高くなっていることがわかります。

◇自分には、よいところがあると思っている。

◇自分で計画を立てて学習している。

◇読書が好きで、毎日一定時間読書をしている。

◇学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。

◇生活・学習習慣が身についている。

これらの結果から【R5】

自然の豊かな地域のことについて、多くの人にもっと知ってもらいたいと思っている白山っ子です。また、普段の学校生活において、友達との交流を通して、共に学び合い、自分の考えを深めたり、広げたりすることができています。

今後は、次の3つの活動をより充実させていくことで本校児童のさらなる学力向上に努めてまいります。今後ともご協力よろしくお願い致します。

- 自分のよさを大切にし、目標を明確にもち、なりたい自分により近づいていくことのできる活動
- 子供たちが自らの課題を見出し、自分のこととして捉え、さらに主体的で深い学びに向かうことのできる活動
- 学習内容と地域や身近な事象との関連性について考えることのできる授業の工夫改善